

とよつだより

第 2 3 号
 平成23年6月1日発行
 一編集・発行一
 豊津地区まちづくり委員会
 (広報記録専門部)

センター職員 交替のお知らせ

薄井さんがセンター長(館長)を勇退し、四月一日付で、高安主事が新センター長となりました。それに伴い、爪木の遠藤さんが新たに主事として着任いたしました。引き続き、よろしくお願いいたします。

退任にあたって

薄井正夫



新緑の候 皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび発生した東日本大震災では、甚大な被害を受けましたが、一刻も早い復興がされることを望みたいものです。

さて、私こと、この度三月三十一日をもって豊津まちづくりセンター長を退任いたしました。在任中は、皆様に公私にわたり大変お世話様になり、厚くお礼申し上げます。

三年間、地域の皆様の学習の場、健康づくり、心の安らぎの場として親睦と融和を図るため、関係団体と連携を密にして取り組んできました。

この三年間、多くの出会いと想い出は、私にとって貴重な体験となりました。地域の皆様はもちろん、飯島委員長を始めとしたまちづくり委員の皆様には、温かいご支援ご協力をいただき、あらためて感謝申し上げます。また、センター職員には常に支えていただきました。今後は、一委員としてまちづくり活動に関わっていきたく考えています。結びに、豊津地区まちづくり委員会の益々のご活躍と、地域の皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます、お礼の挨拶いたします。

平成二十三年 職員紹介
 センター長 .. 高安広子
 主事 .. 黒須ゆき
 主事 .. 遠藤和子
 主事 .. 藤城知子

豊津の人々に 育てられ

高安広子



このたび、若輩の私が、豊津まちづくりセンター長(公民館長)を仰せつかり、職責の重さを痛感いたしました。

さて、平成十四年に、新鹿嶋市総合計画を進める基本姿勢として「協働のまちづくり」が位置づけられ、平成十六年度からは、公民館にまちづくりセンターが併設されて住民主体の「まちづくり委員会」活動がスタートし、今年度で八年目となりました。

「協働のまちづくり！」という名のもとに、基礎づくりの歳月を牽引役となつて、これまでまちづくり委員会活動を盛り立ててくださった役員の方々ははじめ、多くの豊津地域の皆様から惜しみないご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。とともに、今年度はこれまでのまちづくり委員会事業を総括的な視点で見つめ直す年にしたいと思っております。

奇しくも、三月十一日に東日本大震災という未曾有の惨事が発生

薄井さんには、三年間大変お世話になりました。
 センター長として、まちづくりセンターの各種事業の推進はもちろんのこと、多方面からまちづくりに大きく貢献していただきました。
 今後はお体に気をつけながらこれまでの経験から貴重なご意見・ご指導をいただければと願うところです。
 薄井さん、どうもご苦勞様でした。

謝辞



まだまだ分からないことばかりですが、地域の皆様のご指導を頂きながら頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



ご挨拶 遠藤和子

した訳ですが、北浦沿岸に住む住民として、今後、どのような防災の備えや、訓練をしていけばよいのか?など、地域の方々の話し合いなどを通して、ご意見やお気持ち、まちづくり事業に反映させて、現実的な内容を盛り込んでいかなくてはと一市民としても思っております。これからの市民活動は、行政からの依頼に依るといいう形態だけではなく、市民として何ができるかを主体的に考え、実践していくことが、より大切になってくるものと思われまます。

そのためには、何が課題で、何に取り組むか、その「何か」に気づくことが必要ですが、まちづくりセンター(公民館)としては、その「気づき」のための学習機会をどのようにつくっていくかが問われているのだと思います。

何かに向かつて行動を起こすための学習があり、その成果として、私たちの暮らしの向上があるのだと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

新区長さん紹介



▲1年間よろしくお願ひいたします
(写真上・左から)

爪木区長 小沼義夫さん
大船津第2区長 内野芳男さん

(写真下・左から)

大船津新田区長 大川芳郎さん
大船津第3区長 伊原市衛さん
大船津第1区長 浅間利夫さん

平成二十三年度

役員紹介

委員長 飯島亘隆
副委員長 和田勉
幹事 松尾恵子
宮崎幸子
君和田正子
薄井正夫
監事 伊原市衛

「地域環境専門部」

部長 坂本良明
副部長 伊原市衛

「スポーツ健康づくり専門部」

部長 山町重信
副部長 大川悟

「文化福祉専門部」

部長 海老沢良政
副部長 高橋栄治

「広報記録専門部」

部長 藤枝英夫
副部長 桐生進一

災害復旧市民号（軽トラック）をご利用ください



災害による復旧活動を支援するため、各まちづくりセンターに軽トラックが配備されています。被災ごみ等の運搬用として貸出していますので、ご利用ください。

利用日時：午前9時～午後4時30分（月曜日を除く）

手続き：まちづくりセンターに連絡の上、運転免許証の写しを添えて申請してください。なお、ガソリンは実費負担です。

<ごみの持ち込みについて>

- 瓦・ブロックなど → 北海道多目的球技場仮置場
- 一般ごみ（可燃・不燃ごみ・粗大ごみ） → 広域鹿嶋RDFセンター
- ※ 午前8時30分～正午、午後1時～4時（日曜日を除く）

（注意）木くず・家具類・小型家電製品（リサイクル家電を除く）などの被災ごみは、5月10日で受付を終了しました。今後は、「粗大ごみ」として出してください。自分で持ち込みできない場合は、シルバー人材センター（電話84-5515）の戸別回収（有料）をご利用ください。

ソフトボール大会結果
5月22日（日）
ト伝の郷運動公園
優勝 爪木区（A）
準優勝 大船津第3区



優勝した爪木区（A）の皆さん

畑仕事で汗流し

「第一回とよつキッス」

今年も地域で子どもを育む「とよつキッス」が、5月14日（土）に始まりました。数日間続いたぐずついた天気も、この日は一転、さわやかな五月晴れとなりました。

好天のもと集まった子供たちは、リトルフアームの畑仕事に汗を流しました。今年はずりくりセンターの他にも、地域の方が提供してくれた畑があり、合計2カ所で行いました。鋤を使って畝をつくり、マルチをかける作業を地域の先生たちに教わり、慣れない手つきながら、みんなががんばりました。

畑には、枝豆やトウモロコシ、スイカなどの種をまき、その上に土をかけ、最後にはマルチを長靴で踏み固めました。今から収穫のときが楽しみですね。

畑仕事でお腹をすかした後は、ホットケーキづくりです。みんなで作り、いただいたホットケーキの味はまた格別のものだったでしょう。

この後も収穫までの間、地域の先生方に教わりながら、いろいろ畑の手入れをしていきますので、地域の皆さんも、まちづくりセンターに来たときには、枝豆などの成長ぶりを見てやってください。



5月恒例の北浦一周サイクリングは、震災の影響のため、9月に延期となりました。

とよつかるためぐり シリーズ⑨

③ 六地藏

こころをこめて
導き願う



六地藏とは、地藏菩薩の像を6体祀ったもので、仏教の六道輪廻の思想に基づき、六道（地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上）それぞれを六種の地藏が救うとする説から生まれたものです。日本では、平安中期以来、六地藏の信仰が盛んになり、地藏堂や寺院、路傍、墓地などに祀られた六体の地藏や各所の地藏尊のうちから六か所を選んだものなど、いろいろな形態があります。また、合掌して像の他、蓮華や錫杖、香炉、数珠など持ち物も異なっています。

「とよつ親子かるた」で詠む六地藏は、爪木の最勝院に祀られています。山門をくぐって右側に並んでいるので、皆さんも一度お参りしてみませんか。



豊津クリーン

5月8日に実施しました。ご覧のとおり、沢山のゴミが回収され、豊津地区が綺麗になりました。参加された皆さん、お疲れ様でした。

